

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
時間数は45分換算			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	岩崎 京子・安富 万里子	
授業の目的・目標						
様々な活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でのコミュニケーションを図る。						
授業の概要						
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。デザインを学ぶ学生の基本姿勢として、自分の足で情報を収集し、得た情報を分析し自分自身のアイデアに反映する等のデザイン訓練を行う。静岡県内に限らず、各地で開催される展示会やイベントを視察する。						
成績評価の方法						
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%	
				課題	50%	
使用テキスト・教材						
必要に応じてテキストやパンフレットを配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	始業式		2	16.	校内イベント	2
2.	終業式		2	17.	地域イベントへの参加	2
3.	球技大会		2	18.	地域イベントへの参加	2
4.	他、学校行事		2	19.	地域イベントへの参加	2
5.	東京研修		2	20.	地域イベントへの参加	2
6.	東京研修		2	21.	卒業制作展視察	2
7.	東京研修		2	22.	卒業制作展視察	2
8.	東京研修		2	23.	卒業制作展視察	2
9.	東京研修		2	24.	卒業制作展視察	2
10.	東京研修		2	25.	学科活動等	2
11.	東京研修		2	26.	学科活動等	2
12.	東京研修		2	27.	学科活動等	2
13.	校内イベント		2	28.	学科活動等	2
14.	校内イベント		2	29.	学科活動等	2
15.	校内イベント		2	30.	学科活動等	2
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
図学Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	辻 雄貴
授業の目的・目標					
・「自分の素材」をみつけ、理論的かつ実践的な「空間造形力」を身につける。					
授業の概要					
・建築と自然（植物）をテーマに「空間の活かし方」を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 自己表現、自然の魅力の捉え方、プレゼンテーション力 2. 課題（提出率と提出された課題の完成度） 3. 平常点（主体的な授業参加度） 4. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）				課題	50%
				平常点	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション／表現力を身につけるために					2
2. 植物のこと。自然のこと					2
3. 建築のこと					2
4. 空間のこと					2
5. アウトプット①					2
6. アウトプット②					2
7. 環境のこと、舞台美術のこと					2
8. アウトプット③					2
9. アウトプット④					2
10. 素材のこと					2
11. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」①					2
12. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」②					2
13. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」③					2
14. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」④					2
15. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」⑤ 全体講評					2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
図学Ⅱ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	小林 良行
授業の目的・目標					
<p>巨匠たち、個々の作品デザインの映像（DVD）をみて、興味を持ち調べる。 そして、レポートにすることで知識を得ることができる。 巨匠ファイルを作成します。</p>					
授業の概要					
<p>個性ある新旧の巨匠たちのデザインをとおして、その時代背景、デザインの成り立ち、製作のプロセスを共に知る。</p>					
成績評価の方法					
レポート(70%)、学習意欲(30%)				期末試験	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
<p>レポート（A4）は1枚以上。1枚目は必ず手描きとし、2枚目からはパソコン使用可とする。パソコンによる文章のコピー&ペーストは禁止。画像を貼り付ける場合は全体の20%以下とし文章は80%以上とする。調べたこと以外に感想は必ず入れ、文章の内容、量が少ない場合は再提出となります。</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	安藤忠雄		2		
2.	ガウディ		2		
3.	マッキントッシュ		2		
4.	リートフェルト		2		
5.	カルダー、or イサム・ノグチ		2		
6.	F・L・ライト		2		
7.	ル・コルビュジェ		2		
8.	ミース・ファン・デル・ローエ		2		
9.	アアルト、ヤコブセン		2		
10.	倉俣史朗		2		
11.	深澤直人		2		
12.	片山正通		2		
13.	団塚栄喜		2		
14.	奥山清行		2		
15.	感想/マイベスト5		2		
その他				関連科目	
<p>※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
図学Ⅱ		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	永峯 秀紀
授業の目的・目標					
環境再現フォトリアルCGについて学習し、ソフトの習得をする。					
授業の概要					
CGソフトTwinmotionについて学習し、建物等の周囲環境をCGで構築する。 建物はSketchUpでモデリングしたデータを使用し、ソフト間の連携も学習する。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度）				課題	40%
2. 平常点（主体的な授業参加度）				平常点	40%
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価したうえで決定する。 ただし課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 使い方、基本操作					2
2. マテリアル設定					2
3. ライブラリの使用					4
4. Skechupとの連携					4
5. 周辺環境構築					4
6. アニメーション					4
7. 課題制作					10
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
図学Ⅱ			講義・演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	10		萩原 一浩
授業の目的・目標					
・写真技術／撮影技術を学び、就活に活用するポートフォリオに活用する。					
授業の概要					
・写真技術／デジタル一眼レフを使い撮影方法を学んだ後、室内や屋外での撮影実践。					
成績評価の方法					
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1	写真技術／絞り, シャッタースピード, ISOの配列及び関係性を再度復習～理解				2
2	写真技術／外部の建物へロケーション撮影=室内を水平及び垂直に撮影する				4
3					
4.	写真技術／自分の作品の特徴を活かし, 判り易くスタジオで定常光を使い撮影				4
5.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。			デザインアプリケーションⅠⅡ		

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
構造力学			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	伊達 剛
授業の目的・目標					
建物にかかる力を把握し、それらの力に対して建物が安全かを確認できる知識を身につける。					
授業の概要					
構造力学に必要な算術計算から、力の基礎、力の釣り合い、反力について学ぶ。また部材に生じる力					
成績評価の方法					
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度）				課題	40%
2. 平常点（主体的な授業参加度）				平常点	40%
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）				学習意欲	20%
これらを総合的に評価したうえで決定する。 ただし課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。					
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 分数・平方根・文字を含んだ式・方程式・連立方程式・面積の計算					2
2. 分数・平方根・文字を含んだ式・方程式・連立方程式・面積の計算					2
3. 力とは 力のモーメント					2
4. 合力・分布荷重					2
5. 力の釣り合いとは					2
6. 回転をともなう力の釣り合い					2
7. 構造物の支え方・単純梁の反力					2
8. 片持ち梁の反力・張り出し梁の反力・ラーメンの反力					2
9. 単純梁に生じる力・片持ち梁に生じる力					2
10. トラストは 軸方向を求める方法					2
11. 応力度 引張応力度・圧縮応力度					2
12. 座屈とは 座屈荷重					2
13. たわみについて 代表的なたわみ・たわみの求め方					2
14. 建築物の揺れ方					2
15. 耐力壁について 壁量計算					2
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
構造力学		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	40	1	中野 年浩
授業の目的・目標					
インテリア(建築)模型の制作を通じて、制作技術そのものの向上を目指す。図面だけでは表現することができない部分を補完し、プレゼンテーションで生かす方法などを習得する。					
授業の概要					
他授業との連携により計画された図面(条件)を基に実際の建築模型の組立て方を検討し制作する。空間構成を把握すること、プレゼンツールとして有効活用することを学ぶ。					
成績評価の方法					
最終提出された成果物(模型)の出来栄を主として、制作過程を想定したシートを基に制作の意図や過程を総合的に判断して評価します。				課題	80%
				平常点	20%
使用テキスト・教材					
適宜、プリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 課題提示及び与条件等の説明					1
2. 制作スケジュールの検討及びシート提出					1
3. 表現方法・模型素材の扱い方					2
4. 段ボールを使用した(仮)模型制作					4
5. 模型制作 インテリア・エクステリアを含む					28
6. 模型提出・発表 講評					4
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
構造力学		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20		小沼 勝也
授業の目的・目標					
インテリアの材料発注の業務や見積書作成の業務等で必要となる積算について学ぶ。積算は工法・構造・材料等の知識が必要となるので、ほかの授業の復習や強化にもなる。					
授業の概要					
木造・非木造の様々な材料・部材・工法等の名称を覚え、それらの算出方法を学習する。授業の区切りのところで筆記テストを行う。					
成績評価の方法					
授業に向き合う姿勢50%、テスト50%				平常点	50%
				テスト	50%
使用テキスト・教材					
「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	積算の概要・工事費の構成・積算方式・数量計算		2		
2.	土工事・地業について		2		
3.	鉄筋コンクリート造の積算		2		
4.	鉄筋コンクリート造の積算		2		
5.	鉄骨造の積算		2		
6.	木造・内装工事の積算		2		
7.	木造・内装工事の積算		2		
8.	木造・内装工事の積算		2		
9.	演習問題と解説		2		
10.	期末テスト		2		
その他			関連科目		
※演習課題を複数コマにて実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度	
			時間数は45分換算		科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
基礎製図Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	岩崎 京子	
授業の目的・目標						
住宅設計・デザインを考える上で、「誰のために・何のために・どうなるために」を考え、ライフスタイルから空間をデザインする思考を養う。空間デザインを行う全体のプロセスを体験する。						
授業の概要						
2年次修了課題のターゲット設定、コンセプト設定、事例の調査 内観パース作成、コンセプトボード作成						
成績評価の方法						
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢） 3、作品完成度					平常点	30%
					学習意欲	30%
					作品	40%
使用テキスト・教材						
配布プリント等						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	現地見学、調査	2	16	内観パース作成		2
2.	問題定義	2	17	プランニングボード作成		2
3.	ターゲット設定	2	18	プランニングボード作成		2
4.	事例調査	2	19	プランニングボード作成		2
5.	コンセプト設定	2	20	プランニングボード作成		2
6.	ラフプラン作成	2	21	プランニングボード作成		2
7.	内観パース作成	2	22	プランニングボード作成		2
8.	内観パース作成	2	23	プランニングボード作成		2
9.	内観パース作成	2	24	プランニングボード作成		2
10.	内観パース作成	2	25	プランニングボード作成		2
11.	内観パース作成	2	26	プランニングボード作成		2
12.	内観パース作成	2	27	プランニングボード作成		2
13.	内観パース作成	2	28	プランニングボード作成		2
14.	内観パース作成	2	29	プランニングボード作成		2
15.	内観パース作成	2	30	プランニングボード作成		2
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
基礎製図Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	山田ケンジ
授業の目的・目標					
デジタル描画技法によりphotoshopスキルとインテリアスケッチの習得					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ●液晶タブレット+ペンを使用しデジタルでのアイソメ作画方法、パーススケッチ、彩色の技術を身につける。 ●Photoshopをメインに使用(Illustratorも併用、iPad +プロクリエイトでの制作も可) ブラシやテキストャーのカスタマイズ法を学びデジタルペイントでの空間認識力、発想力、技術を身につける ●テキストャー作成、画像変形、貼り付けなどのデジタル表現独特の方法を学ぶ 					
成績評価の方法					
授業態度、提出課題作品の評価					作品完成度 75% 授業態度 25%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	シラバスを元に授業概要、液晶タブレット設定など				2
2.	フォトショップブラシのカスタマイズ、登録法、ショートカット他				2
3.	テキストャー作成、画像変形、貼り付けなど				2
4.	デジタルでの空間認識(透視図法、アイソメ図法) 演習				2
5.	"				2
6.	"				2
7.	"				2
8.	実在または創作の建物、室内空間をアイソメ図法を用い作品制作				2
9.	"				2
10.	"				2
11.	"				2
12.	"				2
13.	"				2
14.	"				2
15.	講評				2
その他					関連科目
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
基礎製図Ⅱ		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	小沼 勝也
授業の目的・目標					
3DCADで、三次元パースが描けるスキルを「習得する。					
授業の概要					
スケッチアップを使っての立体図作成。パース作成。					
成績評価の方法					
課題（図面）の提出とその評価				学習意欲	40%
				作品査定	60%
使用テキスト・教材					
スケッチアップ					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 3DCADについての基礎知識			2		
2. 基本コマンド			2		
3. 立体演習1			2		
4. 立体演習2			2		
5. 立体演習3			2		
6. 立体演習4			2		
7. 建築パース演習			6		
8. インテリアパース演習（進級課題）			12		
その他			関連科目		
※演習課題を複数コマにて実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度
時間数は45分換算			科目コード		
授業科目名		授業形態	学科・コース		
設計製図Ⅱ		講義・演習	インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	小杉 陽子
授業の目的・目標					
自分で考え、計画したプランを、正確に図面に書き起こしていく基本的な技術知識を身につける。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・プランニングの基礎と製図等を実践時に学ぶ。 ・期限内に作品を提出しなくてはならないことを守る。 					
成績評価の方法					
1. 出席状況 2. 授業態度(意欲的か、課題完成までのスケジュールリングができていないか) 3. 課題の完成度(アイデア・想像力、コンセプト・着目点、製図の出来栄)の上、課題を締切厳守で提出した上で総合的に評価する。課題未提出は成績評価は行わない。				課題	70%
				授業態度	20%
				出席状況	10%
使用テキスト・教材					
建設予定地の敷地図、各種条件等を、2級建築士製図試験の問題用紙形式にて出題。それをもとに、指定された図面を作図し、データを提出。					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1～8 出題された条件にあったコンセプトを設定を基に、指定された敷地内への平面計画を始める。この際、テーマ、コンセプト、周辺の環境を考えながら、頭に閃いたことをメモし、いくつかアイデアを出していくようにする。		8	37 完成した平面図を基に、全体の高さ～46 関係を確認しながら、断面図1面～2面を作図する。	10	
			47 完成した平面図、断面図を基に、～56 立面図4面を作図する。	10	
9～20 コンセプトを基に、スケッチを作製しながら、具体的に進められるプランに整理し、作図できるように内容を完成させる。		12	57 作図した図面の整合性を最終確認～60 する。	4	
25～36 スケッチを基に、まず平面図を作図する。(外構計画も計画する)		16			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
設計製図Ⅱ		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	岩崎 京子
授業の目的・目標					
インテリアコーディネーター資格取得。インテリアに関する幅広い商品知識を身につけ、住宅、建築・インテリアエレメント等さまざまなフィールドで活躍できる知識の習得。					
授業の概要					
インテリアコーディネーター資格取得に向け、試験対策と共に、インテリアデザイン・建築の基礎知識を身につける。					
成績評価の方法					
模擬テスト、過去問題テスト				平常点	20%
				期末テスト	80%
使用テキスト・教材					
インテリアコーディネーター1次試験合格教本上巻・下巻					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	ウインドウトリートメントの種類	2	16.	内壁の構造、床と床の間	2
2.	カーテンの採寸、ローマンシェード	2	17.	熱と湿気、結露	2
3.	カーペットカーペットの役割と性能、種類	2	18.	換気と通風	2
4.	カーペットに使われる繊維、施工	2	19.	音環境	2
5.	品質表示と防炎規制	2	20.	光環境	2
6.	内部建具、種類と構造、材料	2	21.	模擬試験	2
7.	外部建具、種類と構造、材料	2	22.	模擬試験	2
8.	建具金物	2	23.	過去問題、演習問題	2
9.	インテリア建材と住宅設備機器メーカー	2	24.	過去問題、演習問題	2
10.	床仕上げ材の種類	2	25.	過去問題、演習問題	2
11.	壁仕上げ材の種類	2	26.	過去問題、演習問題	2
12.	天井仕上げ材の種類	2	27.	過去問題、演習問題	2
13.	インテリアの構成、床の構法	2	28.	過去問題、演習問題	2
14.	壁の構法	2	29.	過去問題、演習問題	2
15.	天井の構法	2	30.	過去問題、演習問題	2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			材料知識、照明デザインⅠ、材料知識Ⅱ、建築法規		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			一般構造Ⅱ、建築設備		

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
設計製図Ⅱ		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	40	2	澤本幸伸
授業の目的・目標					
基礎製図（RC造2階建住宅）の応用と表現を身につける。 プランニングが出来るスキルを身につける。				プランニ	
授業の概要					
住宅設計図（RC造2階建住宅）の表現、基礎製図の習得。 た敷地から住宅（木造2階建）のプランニングの習得。				与えられ	
成績評価の方法					
課題内容提出、課題に取り組む姿勢の総合評価。				学習意欲	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
配布プリント、					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. RC造2階建て(住宅)の設計図の解説。					2
2. RC造2階建て(住宅)の1階、2階平面図の作図。課題提出					6
3. RC造2階建て(住宅)の断面図の作図。課題提出					4
4. 設計課題(問題文)を読み取り設計条件や法規、構造を理解する。					8
5. 木造2階建て(店舗付き住宅)のゾーニング、プランニングの解説。					2
6. 木造2階建て(店舗付き住宅)のゾーニング、プランニング。(エスキス) 課題提出					18
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度
			時間数は45分換算		科目コード
授業科目名		授業形態	学科・コース		
設計製図Ⅱ		講義・演習	インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20	1	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
インテリアデザインに必要な実物の材料を見て・触り・感じるなど、見学やセミナー開催を中心にした授業を行い、材料の理解力を高める。また、インテリアデザイン業界の認知を深める。					
授業の概要					
インテリア・建築の材料に関わるメーカーショールームの見学、展示会の参加、または、メセミナーの参加によって材料を知る。見学後レポートを作成し、提出。					
成績評価の方法					
1、レポート（提出率と提出させたレポートの完成度）			レポート	50%	
2、平常点（主体的な授業参加度）			定常点	30%	
3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢）			学習意欲	20%	
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリントの配布、メジャー、「インテリアコーディネーター合格教本上巻・下巻」					
授業内容・授業計画					
1. 授業の目的、概要説明／住宅関連ショールーム他 見学 2. 住宅関連ショールーム他 見学 3. 住宅関連材料セミナー 4. 住宅関連材料セミナー 5. 1～4の振り返り、まとめ					時間数 4 4 4 4 4
※見学・セミナーについてはスケジュールのより、変更や入替えの可能性あり。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
一般構造			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	20	1	清水 利至
授業の目的・目標					
インテリアデザイン業界の認知を深め、インテリアデザインに繋がる建築物本体の構造についての知識を得ながら、デザインと建物の安全性について理解する。各構造形式の特性を知ること、建築計画の中でどのような構造を採用すべきか、それをどのようなデザインで実現するのかを考えることができるようになる。					
授業の概要					
建築構造の基本と鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造について理解する。鉄骨構造の材料である鋼材、鉄筋コンクリート構造の材料であるコンクリートについての知識、それぞれの構造の各部の構成部材や接合部の仕組みを知り、それらの名称を覚える。最終授業で学習した内容に関する筆記テストを行う。					
成績評価の方法					
1、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢） 2、筆記テスト（学習内容の理解度）				学習意欲	20%
				テスト	80%
使用テキスト・教材					
「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 鉄骨構造の特徴					2
2. 鋼材について					2
3. 鉄骨構造の接合部					2
4. 鉄骨構造の現場解説					2
5. 鉄筋コンクリート構造の特徴					2
6. コンクリート、鉄筋について					2
7. 鉄筋コンクリート構造の接合部					2
8. 鉄筋コンクリート構造の現場解説					2
9. その他の構造					2
10. 期末テスト					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
一般構造		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	40	1	長尾 隆行
授業の目的・目標					
実在するデパートの1コーナーを使って、実在するブランドの商品や、ブランドイメージを理解しながら、物販実店舗の設計をする。					
授業の概要					
実在する空間を把握する作業、ブランドイメージを汲み取る作業、手を動かす(作図、模型)感覚を学習する。					
成績評価の方法					
1. 課題 提出課題の完成度、メット厳守、テスト結果 2. 平常点 主体的な授業参加度 3. 学習意欲 課題に対する取組む姿勢 これらを総合的に評価する。				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
適宜、プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 皆、私の自己紹介			4		
2. 物販ブランドについて			2		
3. 販売スペース下見			2		
4. 販売スペースCAD入れ			4		
5. 計画、ゾーニング			4		
6. 製図			4		
7. 模型製作			16		
8. 発表			4		
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
一般構造		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。 ・ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計や客導線を考えたゾーニングができる。 					
授業の概要					
VMDは店のメッセージやブランド価値を伝え、お客様視点に基づく店づくり方法であり、店舗設計において、商品の展示陳列まで計画するVMDは欠かせない技術である。VMDの基礎知識を学び、実習を通してヴィジュアルプレゼンテーションのスキルを習得する。					
成績評価の方法					
課題（提出された課題の完成度）、平常点（主体的な授業参加度） 学習意欲（授業の理解度、学習意欲の有無、取組む姿勢） 総合的に評価するが、課題を未提出の場合は成績評価が行われない。				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・資料等配布・最終課題材料					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. VMDの概要					2
2. 商品分類、VMD分類、陳列技術					2
3. 陳列技術（IP）の基礎、定数定量					2
4. 陳列技術の応用					2
5. 演出技術（VP・PP）の基礎					2
6. 演出技術の応用 VMDまとめ					2
7. 店舗の見方、リサーチ方法、ゾーニング					2
8. 店舗リサーチ（フィールドワーク）					2
9. ディスプレイプランニング／実習					2
10. 準備&製作／実習					2
11. 製作／実習					2
12. 製作／実習					2
13. 製作／実習					2
14. 課題プレゼン／実習					2
15. 講評&まとめ					2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
一般構造			講義・演習	プロダクトデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	15	2	ふじた ともこ
授業の目的・目標					
照明器具の基礎を学び、生活の中で必要な光について考察しながら照明器具をデザインしていく。					
授業の概要					
照明器具の種類、機能性、照明器具の構造を学び、実際に照明器具を製作する。					
成績評価の方法					
課題製作の工程と仕上がり、そして出席状況、授業に臨む姿勢で評価。				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリントを配布する					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	照明器具の種類と特徴		2		
2.	ランプと光、制御方法について		2		
3.	光とは？		2		
4.	照明デザインの手法		2		
5.	課題1		2		
6.	課題1		2		
7.	照明研修		2		
8.	照明研修		2		
9.	照明手法		2		
10.	課題2		2		
11.	課題2		2		
12.	課題2		2		
13.	課題2		2		
14.	課題2		2		
15.	講評		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
建築法規		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	中野 年浩
授業の目的・目標					
<p>建築行為を行うために遵守しなければならない法令があることを習得します。法令の詳細な内容や具体的な数値等を覚えることを目的とするものではなく、どのような事に注意する必要があるのかということ学習していきます。</p>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・建築に関する法令等。 ・新築に限らず、増築・改修や用途変更時などにおいても遵守しなければならない法令項目。 					
成績評価の方法					
授業内で実施する課題及び演習等を通しての理解度を合わせて総合的に判断する。				演習課題	85%
				平常点	15%
使用テキスト・教材					
建築基準法関係法令集 図説やさしい建築法規					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 建築関連法令 目的・体系(概要)					2
2. 建築基準法 申請・特殊建築物					2
3. 都市計画法 道路・用途地域					2
4. ※実例解説1					2
5. 建築基準法 容積率・建ぺい率					2
6. ※演習					2
7. 建築基準法 内装制限					2
8. 同 上 防火構造等					2
9. 同 上 階段・避難					2
10. 同 上 排煙・非常用照明					2
11. ※実例解説2					2
12. 建築基準法 居室の採光・換気					2
13. ※演習					2
14. その他関連法令					2
15. 修了考査					2
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
建築生産		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	小沼 勝也
授業の目的・目標					
近年需要が増えてきている、エクステリア分野への就職が有利になると同時に、就職後の実務に対応できる。またエクステリアプランナー2級取得希望者にも対応する。					
授業の概要					
エクステリアプランナー2級試験に対応。エクステリアプランの作成、製図、パース、プレゼンボード、模型の制作等。					
成績評価の方法					
学習意欲50%、課題作品評価50%				学習意欲	50%
				課題評価	50%
使用テキスト・教材					
配布プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	2級模擬試験学科問題学習	2	16.	住宅のエクステリアプラン	2
2.	〃	2	17.	プランしたものを製図	2
3.	〃	2	18.	〃	2
4.	〃	2	19.	〃	2
5.	〃	2	20.	〃	2
6.	〃	2	21.	パース制作	2
7.	〃	2	22.	〃	2
8.	〃	2	23.	〃	2
9.	〃	2	24.	〃	2
10.	〃	2	25.	模型制作	2
11.	2級模擬試験製図問題学習	2	26.	〃	2
12.	〃	2	27.	〃	2
13.	〃	2	28.	〃	2
14.	〃	2	29.	プレゼンテーション	2
15.	住宅のエクステリアプラン	2	30.	〃	2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築設備			講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	泊 真吾	
授業の目的・目標						
<input type="checkbox"/> 建築設備の用語、各設備の方式の概要、特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> 設備計画の法令等を理解する。						
授業の概要						
<input type="checkbox"/> 建築物の設備内容が理解出来る。						
成績評価の方法						
<input type="checkbox"/> 平常評価と筆記試験より評価。					平常点	40%
					筆記試験	60%
使用テキスト・教材						
主なテキストは世界で一番やさしい建築設備本を使用。						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 設備とは、設備の種類、必要性						2
2. 給水の仕組み、種類と特徴						2
3. 給湯方式の仕組み、特徴、熱源						2
4. 排水管、トラップ、浄化槽						2
5. 冷暖房方式、省エネルギー						2
6. 換気設備、方式、必要性、種類						2
7. 住宅の電気設備、他との違い						2
8. 弱電設備、EV						2
9. 省エネ設備、自然エネルギーの利用設備						2
10. 建築設備座学総括						2
11. 給排水設備図を読む、書く						2
12. 電気設備図を読む、書く						2
13. 試験対策						2
14. 筆記試験						2
15. 筆記試験結果から補足授業						2
校内建築設備の見学						2
その他						関連科目

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
マーケティング I			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会との接点を意識し、その動向や消費者ニーズなどマーケット感覚を持つこと。 ・ビジネスの基本要素を理解し、その中で商品やデザインの役割を理解すること。 ・上記を企画書としてまとめ、プレゼンできること。 					
授業の概要					
<p>ビジネスの基礎となるマーケティング知識と、それをベースにした発想力、構成力、表現力を身に付ける。</p> <p>産学連携プロジェクトの課題を理解し、立地や周辺環境、そこに関わる人たちのニーズを調査・分析することで、根拠と説得力のある企画をクライアントにプレゼンできるようにする。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業時のワークシート提出 ・プレゼンテーション（企画発表の内容と表現） 				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・スライドデータまたはプリント配布 					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 講座概要、ウォーミングアップ課題、アイデア出しと整理					4
2. 現状分析と仮説づくり					4
3. マーケティングリサーチ計画					4
4. マーケティングリサーチ実施					4
5. ターゲット設定とニーズ分析					4
6. コンセプトワーク、具体案の検討					4
7. 産学連携プレゼンのシナリオ構成とスライド作成					4
8. 産学連携プレゼンのリハーサルとブラッシュアップ					2
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度
時間数は45分換算			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
デザインアプリケーションⅡ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	本野 智美
授業の目的・目標					
PCを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。 専門スキルとの連動として、店舗や住宅とエンドユーザーをつなぐ、コミュニケーションツール(メインビジュアル・ロゴタイプ・パンフレットなど)の制作や指示ができるデザイナー育成を目指す。					
授業の概要					
与えられた課題のルールの中で、オペレーションとしてのレイアウト技法取得の強化を目指す。					
成績評価の方法					
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 課題オリエンテーション					2
2. 講義：レイアウトとは					4
3.					
4. ラフスケッチ～レイアウト研究					4
5.					
6. アイディア決定					2
7.					
8. レイアウト作業～随時チェック					8
9.					
10.					
11. 中間チェック～デザインの方向性の確認					4
12.					
13. 修正～デザインのブラッシュアップ～完成					4
14.					
15. クラス内プレゼンテーション～講評					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーションⅠ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ポートフォリオ制作ⅠⅡ		

シラバス(授業概要)				年度	2024年度	
時間数は45分換算				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ポートフォリオ制作 I			講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	本野 智美	
授業の目的・目標						
自分を伝える手段として、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオを制作する。						
授業の概要						
プレゼン力のある、それぞれの個性が伝わるポートフォリオの制作。						
成績評価の方法						
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価					完成度	100%
使用テキスト・教材						
プリント配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1.	オリエンテーション～ポートフォリオとは					4
2.						
3.	作品の情報収集・データ化					4
4.						
5.	自分キーワードの抽出～テーマカラー、フォント、レイアウトの方向性決定～台割り					4
6.						
7.	各自デザイン作業～随時チェック					4
8.						
9.						
10.	中間チェック～デザインの方向性の確認					6
11.						
12.	修正～デザインのブラッシュアップ					4
13.						
14.	クラス内講評会～第一次提出					4
15.						
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーション I II			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ポートフォリオ制作 II			

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態	学科・コース	
キャリアプランⅡ			講義・演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	太田 稔子
授業の目的・目標					
①コミュニケーション能力を高める ②自分らしさの発見とスキルアップ ③ビジネスマナー検定対策 ④就職に必要な書類作成と就職活動の進め方を身につける					
授業の概要					
更に「自分自身を知ること」、特に自分の弱みを知り、個々の働くことに対する意識を高める。自分の得意なコミュニケーション能力を強化することを重視し、様々な場面で対応できるビジネスマナーの基礎を身につける。個人で就職活動ができるノウハウを伝授する。					
成績評価の方法					
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する。				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
2.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
3.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
4.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
5.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
6.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
7.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
8.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
9.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
10.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
11.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
12.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
13.	キャリアとは	企業の採用基準 就活の流れと情報収集			2
14.	業種と職種	顕在求人と顕在求人 求人票の見方			2
15.	エントリーシートに備える	履歴書書き方基本			2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
産学連携プロジェクトⅡ			講義・演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
外部（大場建設株式会社・三島市）とのコラボレーションにより就職後に役立つ実践的な授業を行う。					
授業の概要					
沼津市の賃貸マンション内、テナント空間及び賃貸住居のコンセプトメイク。および、インテリアデザインを行う。 賃貸住宅の市場や立地条件、ターゲットを踏まえた暮らし方を考えながら、それを形にし伝える提案を行う。					
成績評価の方法					
1、提案課題（提出させた課題・プレゼンの完成度）				課題	50%
2、平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%
3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリントの配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション					4
2. 現地調査					4
3. メインコンセプトに基づいた、デザインコンセプト決め					4
4. 制作①（図面制作・仕様決め・パース作成他）					4
5. 制作②					4
6. 制作③					4
7. 制作④					4
8. プレゼンテーション					6
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
チャレンジプログラムB			講義・演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
①外部とのコラボレーションにより就職後に役立つ実践的な授業を行う。 ②空間の特徴を捉え、要望に合わせたデザインができる。 ③社会人基礎力「チームで働く力」を養う。					
授業の概要					
①テレビのスタジオセットのデザイン、制作、設営を一貫して行う。 ②クライアントからの要望を聞き取り、要望を形にする。					
成績評価の方法					
1、提案課題（提出させた課題・プレゼンの完成度）				課題	50%
2、平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%
3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション /デザインテーマ発表・グループ分け					2
2. 詳細デザインの検討、材料手配、図面制作					4
3. 制作①					4
4. 制作②					4
5. 制作③					4
6. 制作④					4
7. 制作⑤					4
8. 設営					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					